

第4部 組織活性化

- 1 女性分団の活動
- 2 広報企画委員会
- 3 消防団の伝統
- 4 かた昼消防団

■ 4 - 1 女性分団の活動

大分市消防団には、女性のみで構成される女性分団があります。

20代から50代の女性団員が在籍しており、市内全域に活動の機会を広げ、さまざまな取り組みを行っています。女性分団は、子育てや仕事を両立している方が多く、自分の空いた時間を活用して応急手当の普及活動や防災知識の啓発活動を行っています。また、災害発生時には、各種活動の後方支援を行います。女性分団は、女性ならではの視点で、きめ細やかな消防団活動を行っています。

【防災紙芝居】

令和4年度にオリジナル紙芝居作成に向けて検討を重ね、災害リスクとその時に必要な行動を表現した大分市のオリジナル紙芝居「シルルとミルルのおおいたさいがいサーチ」を作成しました。

宇宙に住むシルルとミルルが地球（大分）に来て地震に遭遇したことをきっかけに、災害について学んでいくストーリーです。子どもたちが災害を知らない2人と一緒に大分の災害を学べるようになっています。



【わくわく消防教室】

幼少期のうちから少しでも災害に対する備えの大切さを伝えたいとの思いで、幼稚園などに出向いて防火防災教育を行っています。

<プログラム>

防災紙芝居の読み聞かせ

防災クイズ

消防車の展示

子ども用防火衣の試着・記念撮影

【救命講習】

自主防災訓練や大分市消防局が主催する救命講習などで、応急手当指導員として心肺蘇生法やAEDの取扱いなどの講習を受けています。女性分団は、入団後に、無理のない範囲で、応急手当指導員の資格取得を目指します。

